



**(仮称)中プロ・デザインラボ
(第2回)**

**2025年6月2日(月)
18:30-20:30**

次第

(1) 開会

(2) 意見交換

- ・ (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の振り返り
- ・ (仮称) 中プロ・デザインラボの名称の決定について
- ・ 千葉大学松浦准教授による講演
(まちづくりの将来像策定に向けた他都市の事例)
- ・ 千葉駅周辺の現状について
- ・ 「まち」のアイディアについてのワークショップ

(3) 閉会

(仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の
振り返り

1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■目的

・なぜ、中央公園プロムナードをひと中心の空間に再編する必要があるのか？

現在は、「ひと」の豊かさが求められる時代となり、道路も「車」の通行が主だった時代から、「ひと」が滞在し交流する機能が求められるような時代へと変わりました。

中央公園プロムナードの現在交通量は車線数に比して少なく、道路空間の再編が可能な状態です。

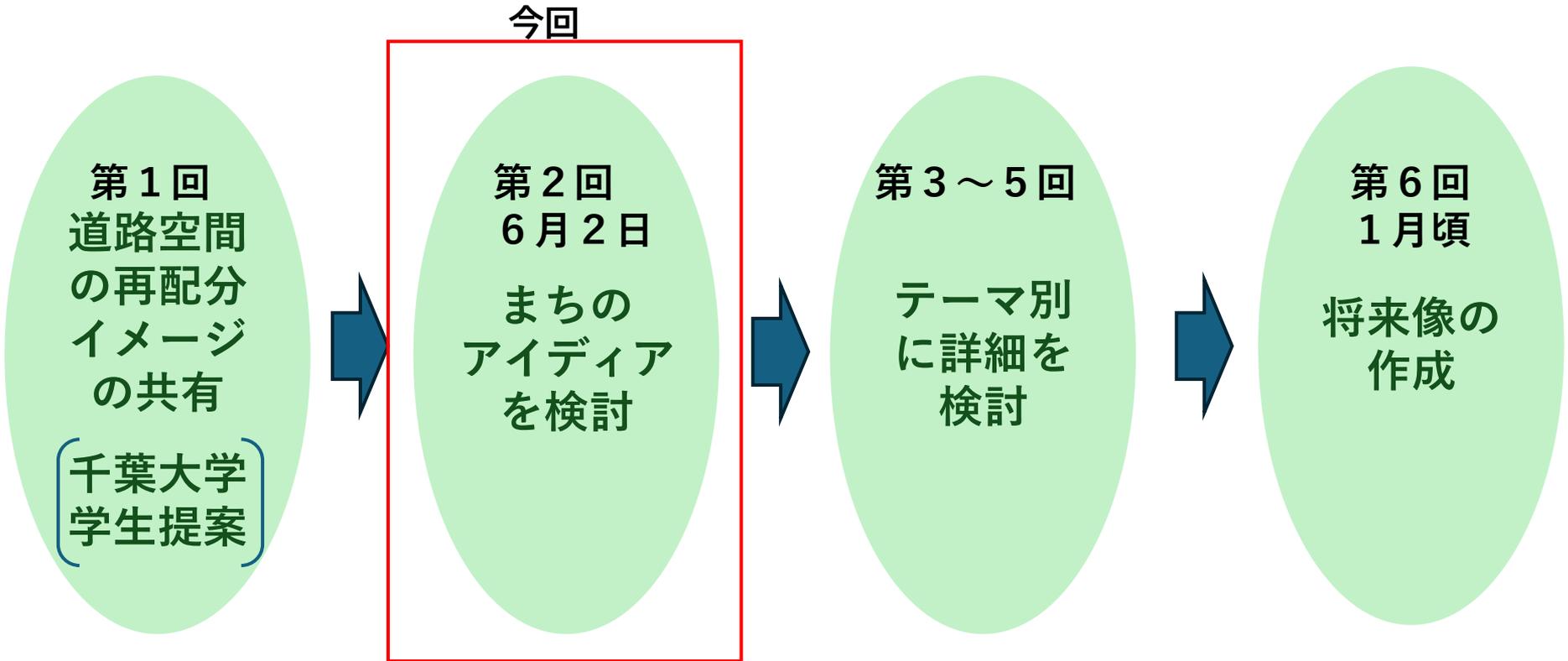
「車」の空間がオーバースペックなら、【道路空間の再配分】をして、「ひと」のための空間を増やしたい。

「ひとのための使いやすい空間・居心地の良い空間」によって
魅力ある千葉都心を実現するために・・・

中央公園プロムナード周辺の将来像
みなさん、一緒に考えていきましょう

1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■将来像作成までの全体スケジュール



令和6年度は、全体で5回程度を想定しています
ワークショップを中心、将来像を考えていきましょう
専門家からの講演なども併用し、参加者の知識の成熟も行いながら実施します

1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■開催概要

- ・ 日時：令和7年2月21日(金) 13:30~16:00
- ・ 場所：千葉市役所 1階市民ヴォイド (イベントスペース)
- ・ 内容：千葉駅周辺の活性化グランドデザインについて
まちづくりシンポジウムの開催結果について
千葉大学都市デザインスタジオ2024からの提案
「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」

意見交換

- ・ 受付人数：44名
- ※なお、当日は出入り自由にしていたため、最終的に資料配布をした人数は『約100名』



千葉大学工学部建築学コース3年生・大学院生による公開発表会・展示会
千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン
公園のような大通り

千葉市中心部のJR千葉駅東口と中央公園を結ぶ「中央公園プロムナード」は、震災復興都市計画により整備されました。千葉市のメインストリートである一方で、沿道や中央公園沿いの大学百貨店等が撤退し、千葉駅周辺に商業集積が進んだことで回遊性がなくなりつつあるといった問題を抱えています。このような現状分析を踏まえて、千葉大学工学部建築学コースの3年生および大学院生が「車中心」から「ヒト中心」の「公園のような大通り」となるような都市デザインを市民の皆様に共有し、その実現方法について議論できればと考えています。
松浦 健治郎
千葉大学工学部 准教授

主催：千葉大学都市計画松浦研究室
千葉大学工学部建築学コース
協力：千葉市役所
その他：入場無料・申し込み不要
問い合わせ先：
松浦健治郎 (matsuura@chiba-u.jp)

発表会
(仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回)
日時：2月21日(金)
午後1時半~4時
会場：千葉市役所本庁舎1階 イベントスペース

展示会
日時：2月25日(火)
- 3月7日(金)
午前8時半~午後5時半
(土日・祝日を除く)
会場：千葉市役所本庁舎1階 イベントスペース

1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■ 「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」 (千葉大の学生提案)

1 内容

- ・中央公園プロムナード及び周辺敷地を対象とし、
30年後を目途とし、通りと一体となったアーバンストリートの将来像を構想

2 提案チーム

- ・地区全体チーム
- ・パークレットチーム
- ・建築チーム

3 発表内容概要

(1) 現状分析

- ・中央公園プロムナードの歴史、資源と問題点などを整理

(2) コンセプト

- ・コンセプト：「公園のような大通り」を提案

(3) 4つの戦略

- ・中央公園プロムナードを「車中心」から「ヒト中心」にするための4つの戦略

戦略1：道路空間の再配分：6→4レーンへ車道減、歩道拡幅等

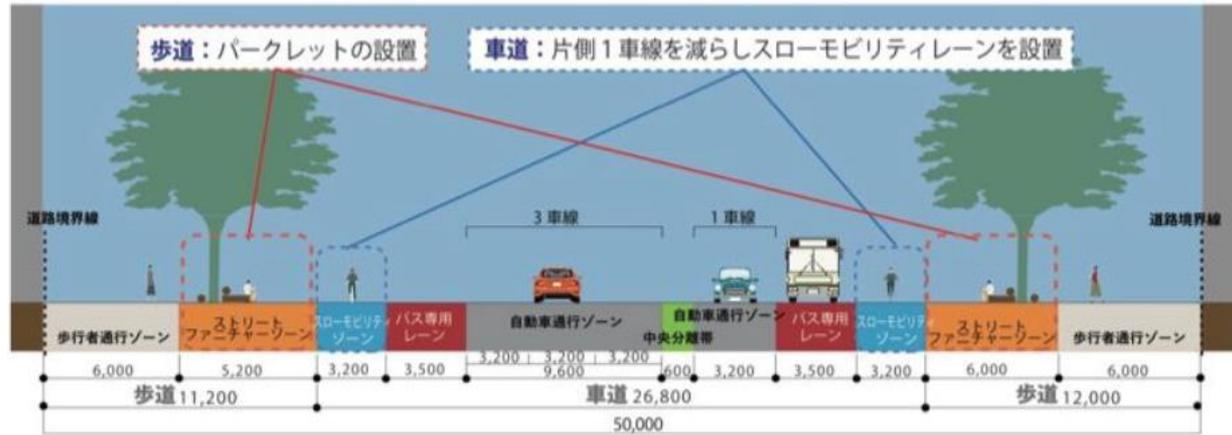
戦略2：沿道建物と大通りの繋がりを創出：壁面後退やデザインガイドライン整理

戦略3：通り抜け空間の連続や横断道路歩道の新設による回遊性の創出：建替え時に通抜け通路整備

戦略4：葭川沿いの親水空間整備：葭川沿い車道の廃止→歩道化・沿川に親水空間整備

1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■戦略 1 道路空間の再配分



STEP 1 (5年後) 社会実験による試行期間

- 既存の道路空間を残したまま、様々な社会実験を実施し、将来像を検証。
- 実施案として、歩道内のケヤキ周りに山武ベンチのパークレットを設置し、仮説的な滞留空間を創出 (R7.3月に1基設置済)

※山武ベンチ※

令和元年度房総半島台風で倒壊したサンブスギを再利用した「山武ベンチ・パークレット」



1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

戦略2 沿道建物と大通りの繋がりを創出

戦略3 通り抜け空間の連続や横断道路歩道の新設による回遊性の創出

戦略4 葭川沿いの親水空間整備

戦略3: 通り抜け空間の連続や横断歩道の新設による回遊性の創出



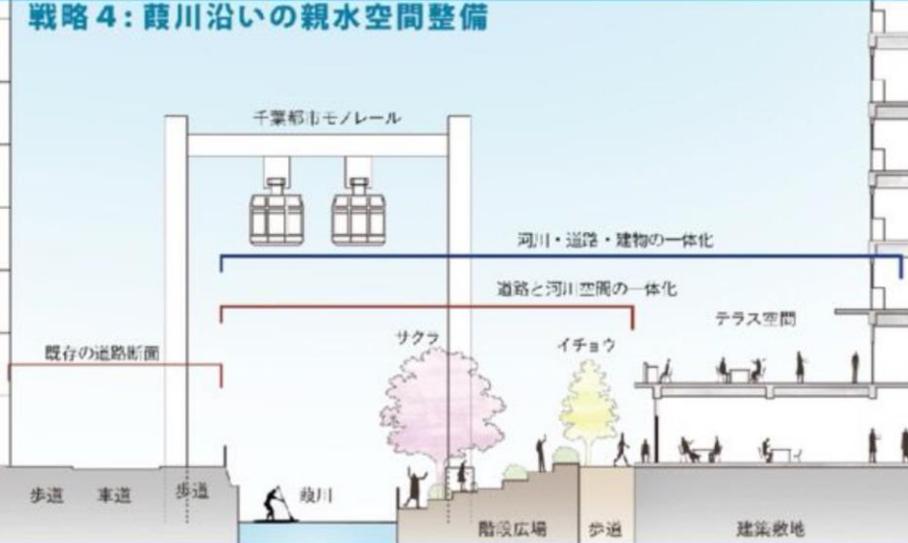
中央公園プロムナード

様々なイベントが開催される開放的なアトリウム空間

街区内通路の奥には中庭が見える

建替える際の敷地内には、通り抜け空間や通路や広場の沿いに個性豊かなカフェ、レストラン、店舗などで回遊性が高い街を創出します。また、横断歩道を増設し、車道を狭めることで道路を横断しやすくなります。

戦略4: 葭川沿いの親水空間整備



千葉都市モノレール

河川・道路・建物の一体化

道路と河川空間の一体化

既存の道路断面

サクラ

イチヨウ

テラス空間

葭川

階段広場

歩道

建築敷地

中央公園の近くを流れる葭川はまちの重要な資源ですが、沿道の建物は川に背を向けています。川沿いの道路について、車道をなくし、歩道と階段広場を再整備します。また、沿道の建物が川との良質な関係性を確保できるように建て変わることによって、魅力的な親水空間が創造できます。

戦略2: 沿道建物と大通りの繋がりを創出



プロムナードとの関係性が希薄な沿道建物について、デザインガイドラインを提案します。建物を低層・中層・高層に分けることにより、連続した街並みを形成するとともに、低層階の壁面をセットバックして創出された建物前面ゾーンにテーブル・イス・ベンチ等を設置することによってプロムナードとの繋がりを創出します。

最上階はペントハウスなどとして活用

最上階には都市の屋上空間を享受できる専用テラスを有するペントハウスやレストランなどを設置します。

高層部はセットバックして100尺ラインを視角化

31m以上の高層部はセットバックすることで歴史的に形成された100尺ラインを後世に引き継ぎます。

100尺 (31m) ライン

建物前面ゾーンの創出

低層部をセットバックすることで建物前面ゾーンが創出され、テーブル・イス、ベンチ、植物が設置されることで魅力的な屋外空間を演出できます。

1・2階のファサード部分の透明化

1・2階のファサード部分を透明化することで通りから建物内部の様子が分かりやすくなり、通りと建物の一体化が促進されます。

1階の店舗にオーニングを設置

世界中の成功している商店街では手の届く範囲にオーニングが設置されているそうです。中央公園プロムナードでも1階の店舗にはオーニングを設置し、ヒューマンなストリート形成に貢献します。

8,500 4,000 2,000

ストリートファニチャーゾーン

歩行者通行ゾーン

建物前面ゾーン

立体的な緑地空間

高層

住宅

中央公園側: 住宅

千葉駅側: オフィス

低層

カフェ・レストラン・ショップ・サービス施設

1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■ 学生提案の可視化 (3D都市モデルを活用したまちづくり)



1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■ 学生提案の可視化 (3D都市モデルを活用したまちづくり)



1 (仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回) の開催結果

■出席者からの主な意見など

- ・ まちなかに駐車場が少ない。
- ・ もっと大胆に車線を減らしてもよかったのではないか。
- ・ 沿道建築物の更新で、どの建築物も商業・業務・住宅のミックスユースとなっている。現在は住宅がトレンドだが、将来的にもそのトレンドが続くのか、ここが住宅導入すべき場所なのか、疑問がある。
- ・ 歩きたくなるまちにするためには、使いこなすことやマネジメントが大事。
- ・ 中プロで屋台イベントをしている中で、上下水道などが整備されるとありがたい。
- ・ もっとベンチや子供が遊べる場があるとよいと思っていたので、提案は面白い。

<アンケートでどのような通りになるとよいかという問いに対して…>

- ・ 行きたくなる魅力ある空間
- ・ 賑わいのある通り
- ・ 環境が整備され自然と歩きたくなる通り
- ・ 日常としてくつろげる空間。

(仮称) 中プロ・デザインラボの名称の決定について

■ 名称についてのアンケート結果

『中プロ・デザインラボ』のままが良い」という意見が3件、その他としては以下3つの提案があった。

Cプロ／中プロ・デザイン市民会議／千葉駅前通り改変計画